



輸入元:OBABY正規販売代理店 株式会社カウ企画
東京都港区白金 1-15-27 03-6676-8689

Monty Travel

Instruction Manual



IMPORTANT KEEP FOR FUTURE REFERENCE
PLEASE READ THESE INSTRUCTIONS
CAREFULLY BEFORE USING THIS PRODUCT

永久保存版：ご使用前に必ず最後までお読みください。

この度は Obaby 製品をご購入頂き有難うございました。このストローラーを安全にご使用頂くために、ご使用前に必ず最後までお読み下さい。

このストローラーは、体重 13 キロ（生後約 12 ヶ月）の乳幼児を対象にした EN1888:2003 の英国国家規格安全基準に、チャイルドシートは欧州経済委員会の基準 44.04 にそれぞれ適合しており、製品の保証期間は、お買い上げ日より 6 ヶ月間です。万一不具合がありましたら、ご購入された小売店にご相談下さい。

間違った組み立ては非常に危険ですから、組み立てを始める前に、次の注意事項を必ずお読み下さい。

【注意事項】

- お子様の安全を守るのは使用する大人の責任です。
- お子様は寝ていても、シート内に一人にしないで下さい。
- お子様はどんな時でもハーネスで固定して下さい。
- ご使用前にロックが全て掛かっているかご確認下さい。
- ストローラーのバランスを崩しかねませんのでハンドルに買い物バッグを下げないで下さい。最大重量 3 キロまでの付属のバスケットをご使用下さい。
- このストローラーを走らせたり、スケート代わりにして、道路を横断しないで下さい。
- このストローラーをベッド代わりに使用しないで下さい。ストラップが首に巻きつく危険性があります。
- ストローラーを組み立てているとき、たたんでいるとき、調節しているときは、お子様を決して近づけないで下さい。万が一、指を挟む、負傷するなど思いがけない事故が起きる危険があります。
- この幼児用チャイルドシートはエアバッグを常備した助手席では絶対に使用しないで下さい。
- シートは後ろ向きに面した位置で設置して下さい。横向きに面したり、後ろ向きの座席に面して設置しないで下さい。
- 子供にハーネスを正しく締めてのみチャイルドシートをご使用下さい。この書きに述べた車にハーネスを締めないで乗り込むことは決してしないで下さい。
- シートベルトは、ラップを通すなど正しい方法で装着する事が非常に大切です。ベルトにネジレがないか確認して下さい。
- チャイルドシートが最大の防護力を発揮するために、座席に対し出来るだけ強く締めて下さい。

安全の為に

- チャイルドシートにはいかなる方法でも何かを付け加えたり、改造したりしないで下さい。
- チャイルドシートはひどい事故後や激しく損傷した場合は、新品をお買い求めることをお勧めします。
- 定期的に、ハーネスに損耗がないかチェックし、取り付け金具、ほつれ等を調節するなどご確認下さい。
- 移動用ハンドルを車内で使用するときは、正しい位置にセットして下さい。
- シートの一部でもドアや折りたたみシートに挟まれないようにして下さい。折りたたみの出来る後部座席を使用するなら、座席を立てたままにしておいて下さい。
- チャイルドシートは正しいカバーのみをご使用下さい。シートの骨組みとカバーの間にあるポリスチレン吸収剤は取り外さないで下さい。
- お子様をシートに乗せまま、食卓、作業台、ベッド、ソファー等に置かないで下さい
- チャイルドシートを車内で使用するときは、正しく装着されているか確認して下さい。
- 重量超過、間違ったたたみ方、メーカー純正品でないスペアパーツを使用しますと、ストローラー故障の原因となるおそれがあります。
- このストローラーは Obaby Monty Car Seat のみと互換性があります。
- ストローラーの重量を常に均等に保って下さい。
- 車内の装飾は、直射日光に当たりますと温度が上がりますので、チャイルドシートを使っていないときは、カバーを掛けるようお勧めします。チャイルドシートおよびその金属部分が直射日光により熱くなることがあります。
- 緊急の際、お子様を素早く、逃がす事が大事です。このことは、バックルが完全に開封防止装置付きとなっていない事を意味します。ですから、お子様にバックルで絶対に遊ばないよう教えて下さい。バックルはいつも、直ぐ手の届くところに置いて下さい。そうすれば、緊急の際、ハーネスのバックルの赤ボタンを押せば、お子様は直ぐ逃げられます。
- スーツケースや重量のある、鋭利な物は車内にしっかり保管しておいて下さい。いい加減な保管は、緊急の際、負傷するなど思いがけない事故が起きる危険があります。
- この説明書は、直ぐ見つかる場所に保管して下さい。
- 前部座席、後部座席を使用して旅行する場合、体重の軽い人は後部座席を、体重の重い人は前部座席をそれぞれ使用して下さい。
- チャイルドシートは常に、収納し、外部に放置されていないようお勧めします。
- チャイルドシートを車内で使っていない時は、緊急の際、落下することもあり、シートベルトで固定するようお勧めします。
- 使っていないチャイルドシートは、安全な場所に保管して下さい。重い物体をシートの真上に置かないで下さい。
- シートを電池の様な腐食性のある物質と接触させないで下さい。
- このシートは使用者側の定期点検が必要です。
- メーカー純正品でないチャイルドシート、レインカバー等の部品や付属品を使用しますと安全ではありません。
- このシートは、引き込み装置付き三点装備の安全ベルト車両及び国連/欧州経済委員会の規則 16、その他の同等の基準で認められた装備車両に使用出来ます。
- このストローラーは、生後一歳から最大体重 15 キロのお子様を対象にしています。
- このチャイルドシートは、生後一歳から最大体重 13 キロのお子様を対象にしています。

【日頃のお手入れ】

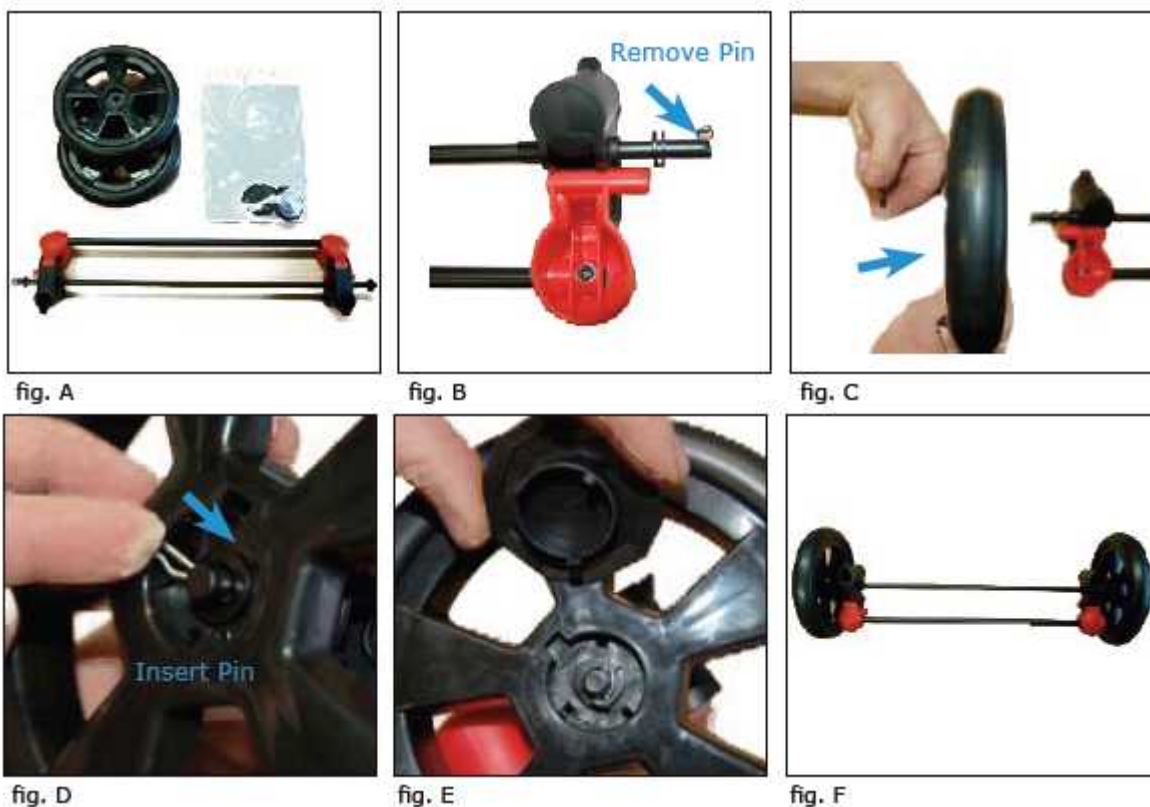
ぬるま湯の中性洗剤でクリーニングして下さい。

- 漂白剤は使用しないで下さい。研磨剤は使用しないで下さい。
- ネジがゆるんでいないか、パーツが擦り切れていないか、縫い目がほつれていないか、常にチェックして下さい。
- 商品は定期的にモデルチェンジをしています。この説明書で紹介した商品と多少異なることもございます。商品は予告無く、新型モデルに移行しますのでスペアパーツが必ずしも将来入手できるとは限りません。詳細は商品を購入された小売店にご相談ください。

【各部の名称】



【後輪の取付方】



部品確認リスト (fig. A)

- 2 x 車輪、- 2 x ハブキャップ、- 1 x 車軸部品

車軸の端にあるピンをワッシャー（座金）の一つとともに取り外して下さい (fig. B)。正しい向きは外側であることを確認して、車輪を軸に向け取り付けて下さい。(fig. C) 残ったワッシャーを軸にスライドさせ、ピンを軸の穴に入れて下さい (fig. D)。3 個の小さい、不揃いな位置装置のハブキャップを車輪の中央に置き、カチット音がするまでしっかり押し込んで下さい (fig. E)。

反対側の車輪も同様に繰り返して下さい。完成図は、(fig. F) の通りです。全ての後方車軸は、ストローラーのフレーム金属部分に留められています。車軸部品には、赤いブレーキペダルが 2 個あり、いずれも、本体の後ろに向いています。

注意：ご使用前に、車輪を支えているピンは全てしっかり締めて下さい。後輪軸は、ストローラーの骨組みにカチット音がするまで、十分に差し込んで下さい。

【レインカバー】



fig. G



fig. H



fig. I



fig. J



fig. K



fig. L

レインカバーを開けて、ストローラーに垂らして掛けます。レインカバーはチャイルドシートを装着したままでも使用出来ます。ストローラーのフード周りのレインカバーの背後をマジックテープ（fig. H）を使って閉じて下さい（fig. G）。ストローラー（fig. I）の前脚周りにあるレインカバーの底部をマジックテープでしっかり止めて下さい。ストローラーの後脚周りにあるレインカバーの後の底部をマジックテープでしっかり止めて下さい（fig. J & K）。反対側も同様に繰り返して下さい。これでレインカバーは設置されました（fig. L）。

【ストローラーを広げる】



fig. 1



fig. 2



fig. 3



fig. 4



fig. 5



fig. 6

ストローラーを広げるには、ストローラー側面にある留め具を外して下さい（fig. 1 & 2）。ハンドルを上を持ち上げ、車輪から離して下さい（fig. 3）。ストローラーの両側で骨組みがカチット音を確認して下さい（fig. 4-6）。

注意：ストローラーを組み立てているとき、たたんでいるとき、調整しているときは、お子様を動かすパーツに決して近づけないで下さい。万一、指を挟む、負傷するなど思いがけない事故が起きる危険があります。

【折り畳み方】



fig. 7

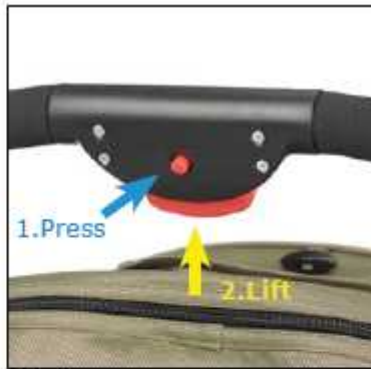


fig. 8



fig. 9



fig. 10



fig. 11



fig. 12

- ストローラーをたたむ前に、
- 前輪は、ロックしておいて下さい。
- バスケットやシート関連物は空にしておいて下さい。
- フードはたたんで下さい。
- 座席は真っ直ぐ立てて下さい。

ストローラーをたたむには、図示した通り、キャッチを上にあげてハンドル左側にある第一解除ロック（プライマリーロック）を外します（fig. 7）。それから、プライマリーリリースキャッチを上にしたまま、ハンドル中心部の裏にあるボタンを押して第二解除ロック（セカンダリーロック）を外します。ハンドル真下のキャッチを上にあげます（fig. 8 & 9）。ハンドルを少し前向きに上げ、ストローラーが完全にたたまれるまで（fig. 11）、ハンドルを車輪方向に押し下げます（fig. 10）。最後に留め具をつけます（fig. 12）。

注意：ストローラーを組み立てているとき、たたんでいるとき、調整しているときは、お子様を動かすパーツに決して近づけないで下さい。万一、指を挟む、負傷するなど思いがけない事故が起きる危険があります。

【車輪を取りつける】



fig. 13



fig. 14



fig. 15

前輪を取りつけるには、前輪がカチット音がするまで前脚に押し込みます（fig. 14）。前輪を取り外すには、車輪真下の脚側のボタンを押して、前輪をスライドさせて取り外します（fig. 15）。

前輪旋回車輪の使い方

車輪を旋回モードにするには、前輪のそれぞれの前部をレバーで押し下げます（fig. 16）。

旋回車輪をロックするには、まず、前輪が車台と一直線の向きになっていることを確認して後、レバーを上にあげます（fig. 17 & 18）。

【ブレーキをかける】

ブレーキを十分利かすには、足を使ってそれぞれのブレーキ・レバーを踏み下ろして下さい（fig. 19 & 20）。

ブレーキを外すには、足を使ってそれぞれのブレーキ・レバーを持ち上げて下さい(fig. 21)。

背もたれの調節

真っ直ぐ上に持ち上げるには、単純に座席の後部を好みの高さまで持ち上げます(fig. 22)。

背もたれをリクラインさせるには、座席の後ろのレバーを持ち上げ(fig. 23)、好きなところまで下げます(fig. 24)。



fig. 16



fig. 17



fig. 18



fig. 19



fig. 20



fig. 21



fig. 22



fig. 23



fig. 24

【プレートレイの取り付け方と外し方】

プレートレイを取り付けるには、プレートレイを真っ直ぐ上に保ち、位置決めピンを車台に向いている受け口にスライドさせます(fig. 25)。このピンを旋回軸として、プレートレイを回転させます。プレートレイ真下のボタンを押して車台の上に戻します(fig. 26 & 27)。



fig. 25



fig. 26



fig. 27



fig. 27a

プレートレイを外すには、プレートレイ真下のボタンを押してトレイを上にあげます(fig. 26)。

位置決めピンを 旋回軸(fig. 27a) として、プレートレイを十分回転させ、トレイをスライドさせて外します。

【ハーネスの使い方】



fig. 31



fig. 32



fig. 33



fig. 34



fig. 35



fig. 36

ハーネスを締めるには、ウエストストラップの両方のファスナーを股下ストラップの締め具に差し込みます (fig. 31)。それぞれのチェストストラップをウエストストラップに留めます (fig. 32 & 33)。ハーネスを外すには、締め具中央のボタンを押してウエストストラップのファスナーを外します (fig. 34)。それぞれのストラップのバックルを使って、ハーネスの長さを調節して下さい (fig. 35)。光沢あるDリングは、BS6684の英国国家規格安全基準に合致した別のハーネスに適用されるものです (fig. 36)。

注意：ご使用前にハーネスが正しく装着されているか確認して下さい。ハーネスは常に正しく装着されていなければいけません。お子様にはいつもハーネスをして下さい。常にウエストストラップと一体となった股下ストラップをご使用下さい。

【車台にチャイルドシートを取り付ける】





fig. 37



fig. 38



fig. 39



fig. 40



fig. 41



fig. 42

チャイルドシートを取り付ける前に、ストローラーの座席が十分にリクラインされていること、プレートレイが安全に設置されていることを確認して下さい。

チャイルドシートを車台に向けて下げて下さい(fig. 37)。チャイルドシートがシート両側でカチット音がするまで十分入っていることを確認して下さい(fig. 38 & 39)。

ご希望なら、チャイルドシートの片方側にある赤いボタンを押して、ハンドルを回転させてもかまいません(fig. 40)。

チャイルドシートが正しく取り付けられますと、グリーンのランプが点灯します(fig. 41 & 42)。

プレートレイを取り付けたまま、チャイルドシートを取り外しますと、少し、下方に力が必要になります。



fig. 43



fig. 44



fig. 45



fig. 46



fig. 47



fig. 48

注意：車台にチャイルドシートを取り付けているときは、チャイルドシートが正しく装備されていることを確認して下さい。

【車に乗せる】



fig. 16



fig. 17

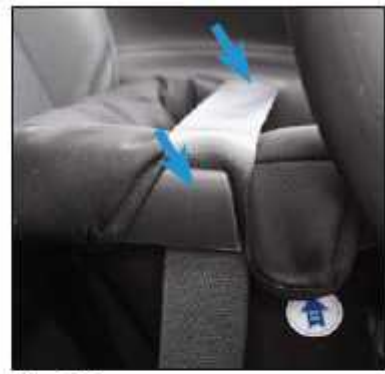


fig. 18



fig. 19



fig. 20



fig. 21

注意：このチャイルドシートは常に後部座席に装着します。Fig. 16のような3点ロック式シートベルトタイプの自動車で、且つエアバッグのない座席のみ対応します。

- チャイルドシートは規格に基づき安全設計されておりますが、お子様の安全は常にご利用になる大人の保護責任のもとに成り立ちます。ご利用になる前にかならずこちらの取扱説明書を熟読いただけますようお願いいたします。誤使用は大変危険が伴いますので正しくご利用ください。
- ハーネスの長さはお子様に合わせていますか。冬服、夏服でハーネスの長さが変わることがあります。
- 車に装着される場合は、各部分でシートベルトが正しく通っていることを常に確認します。
- 常にチャイルドシートに問題が無いか装着する前に確認が必要です。
- エアバッグのある助手席での装着は禁止です。
- チャイルドシートは常にシートベルトで固定して使用します。

ステップ1

チャイルドシートを fig.17 の写真のように後部座席に前後逆のポジションで置きます。座席背あてにしっかりくっついていることを確認します。

ステップ2

シートベルトを大人が装着する際、太ももに来る部分のベルトを fig. 18 のようにチャイルドシート下部分の2箇所のシートベルト通し口に通します。

ステップ3

シートベルトを大人が装着する際、肩から斜めに掛かる部分のベルトをチャイルドシート後方を回るように配置し、Fig.19 のシートベルトと通し口を通して固定します。

ステップ4

シートベルトを引っ張り緩みがないことを確認します (fig. 20)。しっかり装着されているかチャイルドシート背あて部分をやさしく押しながら確認します (fig. 21)。正しく装着されている場合は、押ししてもチャイルドシートはほとんど動きません (fig. 21)。もし、動いてしまうようでしたらもう一度最初から装着し直してください。キャリーハンドルは fig. 21 のように上方に向けておきます。

これらすべてが確認できた時点で初めて正しく使うことができます。

フードを取りつけるには座席の向きに沿って、それぞれの車体にフード・キャッチを取り付けます (fig. 24-25)。

フードをたたむには、フードの両側にあるフード調節レバーを図のように引っ張り上げて畳みます (fig. 27-29)。

保証書

商品名		機種名
お買上げ 年月日	年	月 日
お客様	ご住所(〒 -) お名前 電話番号 ()	
保証期間	お買上げ日より6ヶ月	
販売店	ご住所(〒 -) 名前 電話番号	

品質保証期間はご購入日より6ヶ月です。
保証に関してはご購入店舗にお問い合わせください。

お買上げ後、商品名、本体No.、購入年月日、お客様名、販売店名を直ちにご記入ください。
万一故障が生じた場合は、この保証書と同時に本製品の取扱説明書をご提示ください。
本書がない場合は、保証条件に対応できない場合がございますのであらかじめご了承ください。
本書は再発行いたしませんので大切に保管ください。

<保証基準>

- ・ 品質保証期間はご購入から6ヶ月です。
- ・ 保証期間内は、パーツの欠損、不良加工等メーカーの責任によるものは無償修理をいたしますがお客様の誤った使用などによる破損などは実費修理といたします。
- ・ 一度ご使用になったものは原則として商品のお取替えをいたしません。
- ・ 次の項目は無料サービスから除外されます。
 - 製品の自然劣化
 - 間違った使い方や手入れ不良によるもの
 - 天地災害事故等によるもの
 - 使用による生地汚れや染み
 - 使用者による造作変更
 - 実費修理による運賃等の諸経費
 - シートの傷や汚れ
 - その他消耗品
- ・ 本保証書は日本国内のみ有効です。
- ・ 製品についての各種お問い合わせは、お求めの店舗に直接ご連絡ください。